

テルモ200NC3 シルバー

THERMO 200 NC3 SILVER

一般名称		耐熱用変性シリコン樹脂アルミニウムペイント				
適用規格		—				
系統		耐熱用変性シリコン樹脂アルミニウムペイント				
主な用途		【耐熱鋼構造物用】				など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	
	—	—	—	—	—	
特長		1) 常時200℃(瞬間最高250℃)の温度に耐える。 2) 塗膜の耐候性が良く、屋外バクロ部にも使用可能である。				
塗料性状	塗料密度(比重)	0.98				
	溶剤密度(比重)	0.85				
	加熱残分	38%				
法令など	一液					
	劇物表示 (品名・含有率)	SDSをご参照ください				
	労安法上の 表示有害物	SDSをご参照ください				
	使用有機 溶剤種別	SDSをご参照ください				
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)				
	硬化剤の成分 による区分	—				
	ホルムアルデヒド 放散等級	—				
	製品情報	一液				
荷姿	16kg 4kg					
混合比(重量比)	—					
主な色(色相)	シルバー					
素地調整		○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。				
使用方法	調合方法	オートマゼールなどの動力攪拌機を用いて、十分ほぐしたのち使用する。				
	熟成時間	不要	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。			
	使用シンナー	エナメルシンナー200				
	希釈率(重量比)	エアレス： 0～5wt% ハケ： 0wt%				
	エアレススプレー	2次圧	10MPa(100kg／cm ²)以上			
塗装条件	チップNo.	163－415～617				(日本グレイ社製)
上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。						
製品改良のため予告なく変更することがあります。						
作成日			2024. 9. 19.		更新日	2024. 9. 19.
ページ(1／2)						

テルモ200NC3 シルバー

THERMO 200 NC3 SILVER

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	15	75	90
ハケ塗り	15	75	70

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使用時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	3時間	3時間	1時間	1時間	1時間	
	半硬化	5時間	5時間	3時間	3時間	3時間	
標準塗装間隔 注)	最短	16時間	16時間	12時間	8時間	8時間	
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	
可使用時間		—	—	—	—	—	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: テルモ200NC3下塗、SDジンク1500A、SDジンク1500APなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 250℃耐用 、 長時間 200℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理
用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	28.5	3.5
5	27.0	3.7

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項

- 水蒸気・酸・アルカリの強い雰囲気では耐久性が弱いので、使用を避けてください。
- 上塗すると下塗がにじむ場合がありますが、上塗を2回塗りするかスプレー塗装すればにじみは止まります。
塗膜性能に問題はありません。
- SDジンク1500AもしくはSDジンク1500APの上に塗装する場合、バブリング対策上、2～5分の塗装間隔で2回塗りのミストコートを行ってください。
- 使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると上塗りに膨れが生じる場合があります。
ふくれが生じた場合には上塗りのみ補修してください。
- 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
- テルモNCおよびテルモNC2シリーズとの混合、塗り重ねは避けてください。